

第一回 孫七瓦 いまむかし

常務のコラム

今回は私の記憶を辿りながら弊社(孫七瓦工業株式会社)の事を少し書いてみようかと思えます。弊社は元々は屋根瓦を焼いて販売をしていました。農業をしながら瓦を製造していたそうです。江戸時代からだと言われています。そして瓦を焼いていたのは昭和五十三年までだったと思います。

昭和五十三年という、横綱北の湖関が七月場所で大勝優勝。レコード大賞でピンク・レディーが大賞受賞。紙おむつや使い捨てカイロが大ヒット。新東京国際空港(現在の成田国際空港)開港などがあった年です。その頃になると段々と近辺に家が建て込んできて、煙を上げて瓦を焼くことが出来なくなってきました。ところが、既に家業として知られており、ありがたいことに沢山のご注文依頼を頂いていました。そこで、全国の瓦産地から仕入れて販売と工事をさせて頂く会社運営へと変更をし、現在に至っています。



孫七 だるま窯

振り返ってみますと、昭和三十年代中頃から斑鳩町周辺(このあたり西和地区)では宅地開発が盛んになり、どんだん家が建設され始めました。それもほとんどが新築の木造ばかりでした。しかも屋根材はと言うとほとんどが粘土瓦でした。

弊社でも多いときには瓦葺きの職人さんが十五人ほど在籍しておりました。やがて、ハウスメーカーがこの近辺(西和地区)にも進出するようになり、昔ながらの木造軸組工法の建築が少なくなり、屋根材も瓦が少なくなり、瓦以外のセメント系スレートや金属屋根材が多くなってきました。

ハウスメーカーの建てる家が多くなるにつれて地域の職人さんの仕事は少なくなり、各職の職人さんも町や村からほとんど居なくなってしまうました。弊社の職人さんも雨漏り修理の工事にお伺いするとそれ以外の事(雨樋、畳、建具、左官工事や大工工事など)をよく頼まれます。「知り合いの職人さんが居ないので困っている」と、よく聞きますので「私でも出来る事は何でもやろう」と云う姿勢で頑張っているこの頃です。



形成した粘土瓦の乾燥

孫七瓦工業株式会社の

経営理念 II 目的理念

私たちは、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。(科学性)

一、私たちは、社会に信頼される会社となり、地域社会の発展に貢献します。(社会性)

一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の幸福を追求します。(人間性)

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。

まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。

かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。

ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させて頂きます。

〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業(株) まごひち瓦版編集部

☎ 0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>